

産業都市委員会

産業都市委員会 村瀬 旬 委員長コメント

2月16日に所管事務調査を行いました。

政策課題であります「盛土の現状と対応について」としまして、「建設発生土の有効利用に向けた静岡県の取組」について静岡県技術調査課の牧野忠広様から概要説明を受け質疑応答を行ったのち、現地調査を実施しました。

現地調査の内容は、静岡県が実施しているストックヤードモデル事業の視察としまして、長泉町内にある東部ストックヤードモデル事業の調査を行いました。沼津土木事務所の職員からモデル事業実施計画の説明を受け、その後質疑応答を行い、静岡県の建設発生土の有効利用に向けての取組及び進捗状況について見識を深めることができ、今後の政策課題の調査研究に活かしていきたいと考えております。



▲東部ストックヤード（長泉町）

視察内容

先進地視察

- ・都市計画法による線引き廃止の経緯と効果について（長野県安曇野市）
- ・施設の建設、維持管理、集客、活用状況等について（茨城県水戸市）

長野県安曇野市では、「都市計画法による線引き廃止の経緯と効果について」を視察しました。安曇野市は平成24年12月に豊科地域の「線引き制度」の廃止を行っています。その背景には合併前からの異なる土地利用が課題となっていました。全市民を対象とした意向調査の実施及び土地利用市民検討会での議論を重ねた結果、市独自の自主条例による新制度の運用を行っています。

茨城県水戸市では、「施設の建設、維持管理、集客、活用状況等について」を視察しました。アダストリアみとアリーナ及び隣接している茨城県立歴史館では、独自の誘致活動や多彩な自主事業を展開して、集客力の向上を図っており大変有意義な視察でありました。

今後の議会活動、市政に反映させていきたいと思っております。



▲安曇野市での視察



▲アダストリアみとアリーナでの視察